

症対策、完
中部確認の
設計コンサル
は測量体験
やドローンの
シミュレーシ
ン体験など
を行った。

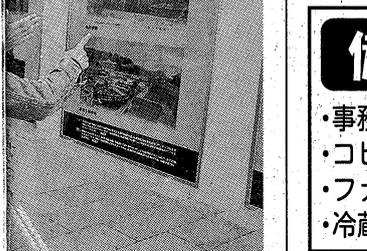
大勢の親子が会場を訪れ、それぞれのペースに順番待ちの列ができるほどの大盛況だった。また会場ではスタンプラリーを実施。全てのブースを体験した参加者に記念品を配るなどして、楽しみ



川づくりを一緒に頑張っている」とあいさつ。直方市の大塚進弘市長は「このワークショップを経て環境やさまざまな活動に取り組む人材が生まれている。未来につながるためにも有意義なものになることを祈念する」と述べた。

州「川」の
Pin遠賀
掘の遠賀川
の水辺で開
写真
ヨップは、
活動発
表は「九州の川は、全

魅力を発信
青年部会ら



ながらさまざまな土木の魅力を伝えるイベントとなった。

熊本市建協青年部会の村上潤典会長はイベントについて「建設業の魅力が子供たちに伝わり、親にもわれわれの取り組みを理解してもらえたら幸いだ。重機に触れてもらう機会になり、参加者の笑顔が溢れる良い取り組みだ」と述べた。

通省延岡河川国道事務所などがクリーンアップ等による川を守る活動や未来につながるプロジェクトなどを発表した。

また、交流会で親睦も深めたほか、16日には九州大学の鬼倉徳雄教授が「九州・遠賀川の環境や川の生き物について」をテーマに基調講演を行い、エクスカージョンとして直方の水辺・堀川の散策や昼食交流会などが行われた。今回の開催地は大分県となっている。

備品レンタルリース

野口株式会社

事務所備品
コピー機・TV
ファックス・寝具一式
冷蔵庫・洗濯機

TEL 092 (503) 9444

事業者の税負担軽減を

社会貢献団体・建設業者異業種会の(一社)21・建設クラブ・福岡(廣松清理事長)は15日、公明党福岡県本部主催の政策要望懇談会に写真に出席し、事業者の税負担軽減を求める要望書を提出した。



要望には、21・KCFの廣松理事長、大鶴耕司会長、西原義人理事長代理らが出席。公明党からは下野六太参議院議

議員、西尾耕治福岡県議会議員、松野たかし福岡市議會議員らに対応し、下野議員は「皆さんが問題意識を持つさまざまな要望・課題の問題解決に向けて動いていきたい」と述べた。

懇談会では、中小零細企業は、賃上げが求められる一方で、消費税が大きな負担となっており、事業者視点にも立つたバランスの取れた税の仕組みを要望。廣松理事長は「経営者は賃金の上昇、消費税、物価の高騰で大変な思いをしている。良い方向に向かうようお願いする」と話した。

林野火災に備え合同訓練

佐賀県生コン工業組合ら

佐賀県生コンクリート工業組合と地元消防機関は16日、林野火災を想定した合同訓練に写真に佐賀市の金立こいの広

場を実施した。有事に備えて連携を強化するためのもので、補給用の水を積載したミキサー車が出動し、簡易水槽への給水

た。スタッフが地域を守る土木の役割や入職促進に向けた取り組みをアピールした。



11月18日の土木の日にちなみ、毎年開催しているもの。建設業のPR、

た右手県での大規模な山林火災などを踏まえ、林野での火災を想定した訓練を行った。訓練には佐賀県生コンクリート工業組合と佐賀広域消防局、佐賀市消防団中部方面隊の金立分団、久保泉分団などから合計で約60人が参加。ポンプ車、タンク車などの車両のほか、組合からは佐賀支部コンクリート工業のミキサー車2台が出動した。

訓練開始に当たり、組合の国上政務常務理事は、「林野火災は一度発生すると、延焼範囲が広く、消火活動が困難だ。訓練を通じて連携体制を確立し、地域防災力を高めることは重要だと認識している。われわれも建設業の一員として、平時、災害発生時ともにできる限りの協力をしたい」と述べた。

訓練は初めに補給用の水を積載したミキサー車が簡易水槽に給水。その後、消火栓に移動し、再び水を積載するといった流れで行われた。このほか、ドローンを使って状況確認をし、指揮を執る訓練や実際に放水を行ったの消火訓練なども行った。